

宮崎県 高校入試情報

令和7年度宮崎県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
- 大問は、地1・歴1・公1・地歴1の計4問（昨年と同じ）
- 小問数は40問（昨年は44問）
- 文章記述問題は11問（昨年は6問）
- 出題傾向について
- 記述問題はすべて穴埋め式。資料から考察して記述する問題もある。
- 地理分野では時差の計算問題や地形図の読み取り問題が出題されている。
- 歴史分野では、宮崎県の歴史をテーマ設定して、古代から現代まで資料を用いた問題が出題されている。また並べ替え問題も見られる。
- パリオリンピックやジェンダーギャップ指数など、最近の話題に関連させた問題が出題。

★宮崎県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■ 活用問題の出題

・資料から考察したことを穴埋め形式で記述させる問題が出題されている。資料の読み取り対策と解答欄の前後に合わせて文章をまとめる記述対策の両方が必要。

新研究で対策！

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p. 194～197)では、複数の資料を読み取る問題や、自分の意見を記述する問題など、最新入試問題からピックアップした、今後も出題されそうな新しいパターンの問題を掲載しています。入試対策の仕上げとして取り組むことができます。

■ 地形図を読みとる問題の出題

・例年、地形図の読み取り問題が出題されているため、さまざまなパターンの問題で練習しておくことが必要。

新研究で対策！

●「フォロー特集 わかる！地形図の読み取り方」(p. 44)では、地形図の読み取り方の基本を穴埋めをしながら理解できます。さらに、「7 地域調査の手法」(p. 36～39)では、新旧地形図の比較や地形図と景観写真についても図解。ていねいな解説で、地形図の読みとり方がきちんと理解できます。

★新研究で出題した宮崎県の入試問題(令和7年度)

◆p.109 大問2

宮崎県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★宮崎県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●	●	●
		日本の姿	●	●	●
		世界各地の人々の生活と環境		●	●
		アジア州	●	●	●
		ヨーロッパ州, アフリカ州	●		●
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州	●		●
		地域調査の手法		●	●
		日本の自然, 人口	●	●	●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●
		九州地方, 中国・四国地方	●	●	
		近畿地方, 中部地方	●		●
		関東地方, 東北地方, 北海道地方	●	●	●
		文明のおこりと日本			
出題内容別の傾向	歴史的分野	古代国家の歩み		●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一			
		近世社会の発展	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●	●	●
		近代日本の歩み	●	●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●
		現代社会と私たちの生活		●	●
		個人の尊重と日本国憲法	●		●
		現代の民主政治, 国会	●	●	●
		内閣・裁判所, 三権分立		●	
		地方自治	●	●	●
出題形式別の傾向	公民的分野	消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●	●	●
		財政, 国民生活と福祉	●		●
		地球社会と私たち	●		
		分野統合		●	●
		大問数	4	4	4
		小問数	33	37	44
		記号解答	20	24	31
		用語記述	4	8	7
		文章記述	9	5	6
		作業・作図			11